

東京湾海況情報 21-07

東京湾水質調査結果（平成21年10月分）

平成21年10月16日発行

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保3091

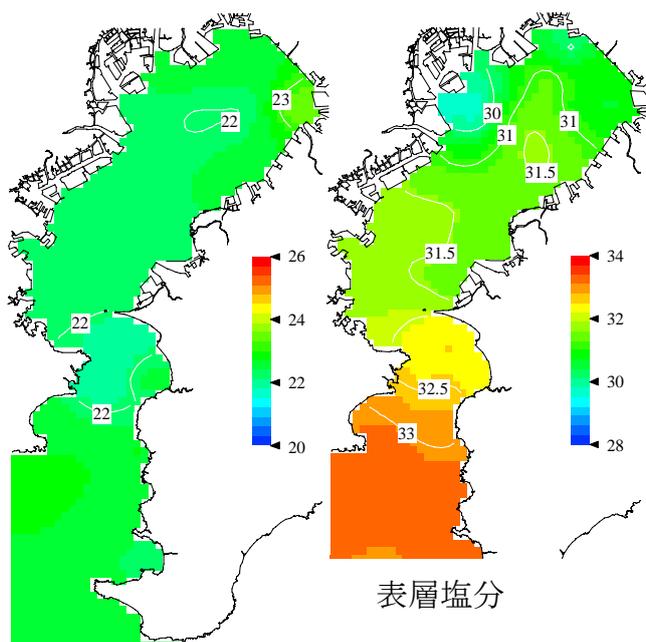
TEL 0439-65-3071

E-mail futtsu-gk@mz.pref.chiba.lg.jp

千葉県農林水産技術会議

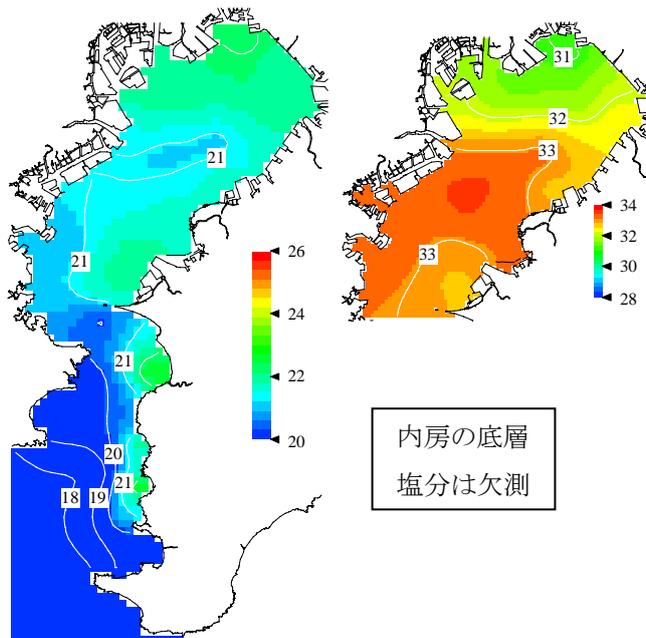
資料：東京湾水質調査(内湾:10/5(わかふさ)、内房:10/5(ふさみ丸))

関東・東海海況速報



表層水温

表層塩分



底層又は50m層水温 底層又は50m層塩分

図1 水温と塩分の水平分布

水温・塩分(図1～3、表1)

表層水温は、東京湾全域でほぼ22℃台前半で、内湾では平年並み、内房ではやや低めでした。

表層塩分は、内湾では30～31台、内房で32～33台で、内湾から内房北部までは平年よりやや高め、内房南部はやや低めでした。

内湾の鉛直分布では、表層と底層の水温差は縮小していました。塩分の分布を見ると水深15m以深では、依然として成層状態が維持されているようでした。

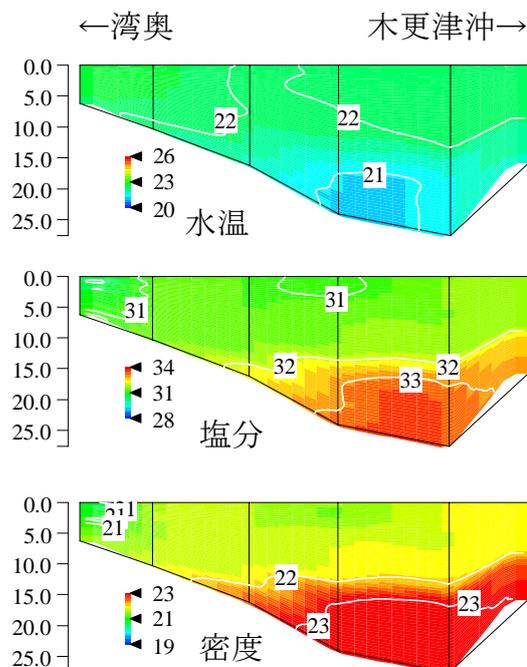


図2 内湾の鉛直分布

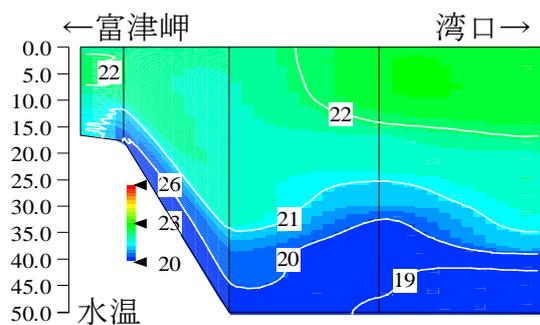


図3 内房の鉛直分布

赤潮の状況(図4、表1)

これまで北部海域を中心に発生していた赤潮は、縮小しアクアライン南側ではほぼ解消していました。

プランクトンも全体に少なめでした。優占種は、珪藻のシュードニッチア(*Pseudo-nitzschia* sp.)で、その他にキートケロス(*Cheatocecos* sp.)、スケルトネマ(*Skeletonema costatum*)が見られました。

植物プランクトン量の指標となるクロロフィルa量は、内湾で0.9~50 μ g/L台、内房ではほぼ5 μ g/L以下でした。

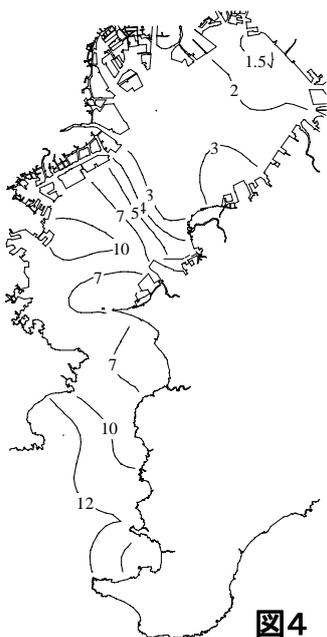


図4 透明度の分布(m)

貧酸素水塊の状況(図5、表1)

貧酸素水塊は、内湾北部中央に分布しその中心はほぼ最深部付近でした。貧酸素水塊の規模は、ほぼ例年並みを保ち、依然として酸素量0.5ml/L以下の水塊が相当量残っているため、注意が必要です。

千葉県水産総合研究センターでは、溶存酸素量2.5ml/L (酸素飽和度50%)以下を貧酸素水塊としています。

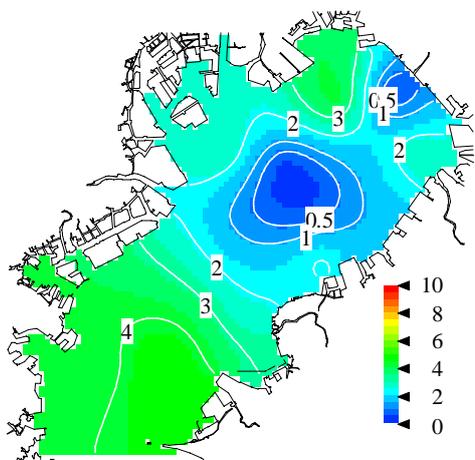
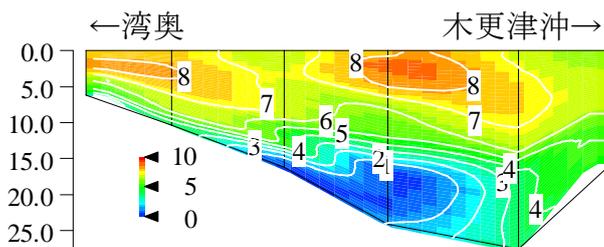


図5 内湾のDO(ml/L)
(上:底層分布、右:鉛直分布)



栄養塩類(図6、表1)

表層の栄養塩類は、依然として全域で平年より低めですが、漁場周辺では、DINで100 μ g/L以上、 PO_4-P で10 μ g/L以上とノリ養殖に支障が出ない程度まで回復していました。

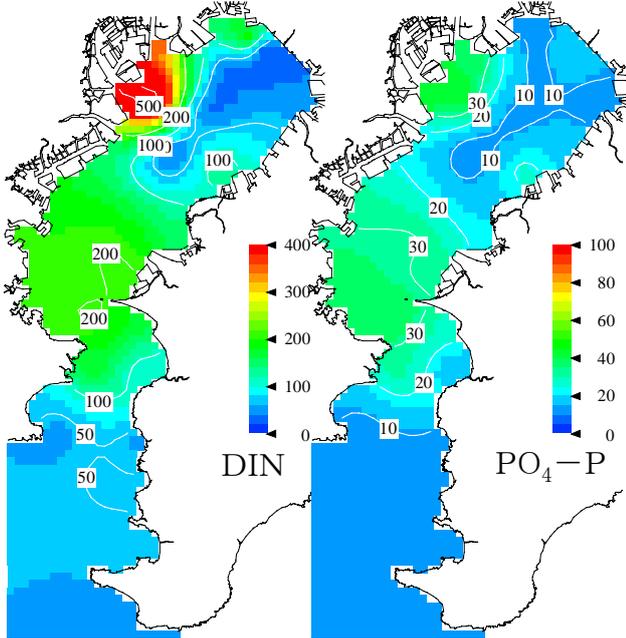


図6 表層の栄養塩分布(μ g/L)

黒潮の動き(図7)

黒潮は、八丈島の北側を東進し、房総沖をはるか離れながら北東方向に流れています。湾口部への影響は少ない模様です。

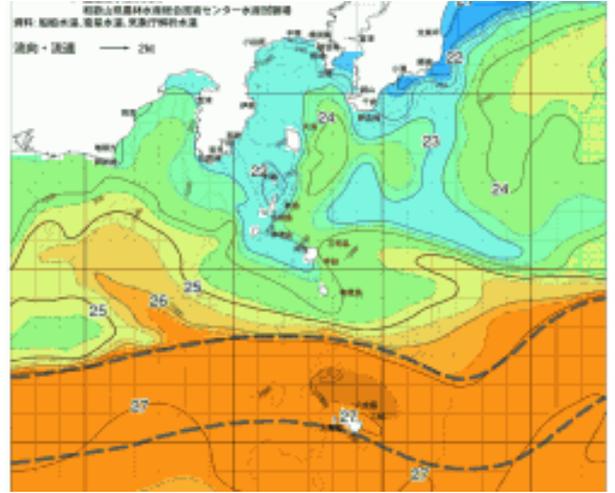


図7 黒潮の動き(10月7日)

表1 主な調査点の水質調査結果

調査年月日:平成21年10月5日

調査点	透明度	水温	塩分	pH	底層のDO (ml/L)	溶存無機 態窒素 (μ g/L)	リン酸 態リン (μ g/L)	アンモニア 態窒素 (μ g/L)	クロロフィ ルa量 (μ g/L)	
内湾	船橋	1.4 (2.5)	22.5 (22.4)	29.95 (29.08)	8.3 (8.3)	2.9 (2.8)	173 (300)	10 (38)	53 (78)	50.7
	st.15	2.0 (2.8)	22.3 (22.2)	31.13 (28.47)	8.3 (8.4)	3.7 (1.7)	25 (254)	9 (20)	20 (39)	28.3
	st.3	2.5 (2.9)	21.9 (22.0)	31.15 (28.14)	8.3 (8.4)	0.0 (1.4)	77 (410)	14 (26)	14 (70)	19.0
	st.6	2.2 (3.5)	22.1 (22.0)	30.93 (28.76)	8.3 (8.4)	1.0 (2.0)	52 (307)	8 (20)	20 (44)	39.9
	st.9	10.0 (4.2)	22.1 (22.0)	31.51 (29.67)	8.2 (8.3)	4.4 (3.1)	189 (221)	29 (21)	70 (33)	0.9
	盤洲Cブイ	3.6 (3.7)	22.3 (23.1)	31.46 (30.05)	8.2 (8.3)	2.1 (2.5)	124 (235)	23 (33)	25 (51)	9.8
	st.8 (盤洲Aブイ)	3.0 (4.0)	22.2 (22.1)	31.17 (30.01)	8.3 (8.2)	2.5 (2.4)	120 (239)	15 (32)	25 (48)	15.3
	富津ベタ	5.5 (4.8)	22.1 (22.0)	31.43 (30.06)	8.2 (8.2)	4.6 (3.8)	205 (236)	29 (26)	69 (39)	2.4
内房海域	第2海ほ下	8.0 (6.9)	21.9 (22.2)	32.09 (31.32)	8.2 (8.2)		203 (195)	35 (23)	99 (39)	1.2
	st.31	8.0 (8.0)	21.6 (22.4)	32.40 (31.47)	8.2 (8.2)		151 (154)	27 (15)	44 (31)	1.2
	st.23	11.0 (13.4)	22.5 (23.4)	33.07 (33.18)	8.3 (8.2)		52 (46)	8 (4)	12 (18)	1.6
	st.1	12.0 (14.7)	22.4 (23.6)	33.06 (33.45)	8.2 (8.3)		43 (44)	8 (4)	10 (20)	0.9
	st.10 (下洲沖)	6.5 (6.8)	21.7 (22.3)	32.43 (31.43)	8.2 (8.2)		156 (172)	25 (15)	60 (36)	
	st.12 (湊沖)	5.5 (7.0)	22.3 (22.3)	32.31 (31.63)	8.3 (8.2)		87 (145)	14 (15)	23 (31)	
	st.22 (保田沖)	9.0 (10.9)	22.5 (23.3)	33.03 (33.23)	8.3 (8.2)		40 (64)	8 (5)	8 (24)	
	st.24 (富浦沖)	11.0 (14.3)	22.4 (23.4)	33.12 (33.42)	8.2 (8.2)		51 (49)	9 (4)	2 (21)	
st.26 (館山湾内)	9.0 (14.1)	22.1 (23.5)	33.15 (33.55)	8.2 (8.2)		48 (70)	9 (7)	7 (23)		

() : 過去10年間の平均値 (ただし富津ベタは過去9年分)

※透明度とクロロフィルa量の網掛けは赤潮、DOの網掛けは貧酸素水の基準に達していることを示しています。